

令和7年度岩倉南小

学校運営協議会ニュース NO. 1

「令和7年度 学校運営協議会スタート」

令和7年5月9日

岩倉南小学校学校運営協議会理事会

会長 二股 茂

京都市立岩倉南小学校

校長 石田 和三

「学校運営協議会」は、保護者や地域の皆様に学校運営へ参画していただくことで、学校と保護者や地域の皆様との信頼関係を深め、ともに知恵を出し合い、協働しながら子どもたちの豊かな学びと育ちを目指していく「地域とともにある学校づくり」を進めるための仕組みです。

といっても、「学校運営協議会ってどんなことをしているの?」という素朴な疑問をお持ちの方々もおられることと思います。そこで、この「学校運営協議会ニュース」を通して、学校運営協議会の様子を少しずつお伝えしていきたいと考えています。

まずは、学校運営協議会理事の皆様をご紹介します。(敬称略・順不同です。)

理事会会長

・二股 茂(岩倉南学区自治連合会会長)

理事

- ・山内 成介(岩倉南学区自治連合会副会長)
- ・若城 光江(岩倉南社会福祉協議会会長)
- ・田中 吉嗣(岩倉南子ども見守り隊・前 PTA 会長)
- ・渡邊 洋子(岩倉南児童館館長)
- ・舩越 克真(少年補導委員会岩倉南支部長)
- ・森田 洋介(PTA会長)
- ・菅原 聖子(PTA副会長)

5月7日(水)には、第1回理事会を開き、今年度の学校教育目標や学校経営方針について、学校長から理事の皆さんに説明しました。

岩倉南小学校では、今とこれからの社会を見据えて、「やさしさと思いやりをもち、自分で考え行動する子」をめざす子ども像として設定しています。(次のページに学校経営方針を掲載していますので、ご覧いただけますと幸いです。)

そして、そのような子どもたちの姿を具現化していくために、遊びや学習、行事や対話を核に教育活動を展開していきます。教職員も、日々、「何のために?」「なぜ?」という目的に立ち戻り、教育活動を構想したり振り返ったりしています。

年間5回開催する学校運営協議会では、教育活動や子どもたちの様子について学校と理事の皆さんで共有したり、教育活動を共に振り返ったりもします。また、企画推進委員会では、子どもたちの学習活動の充実を目指して、教職員と企画推進委員の皆さんで、子どもたちの学習の可能性を探ったり連携したりしていく予定です。

学校教育活動への皆様のご理解とご協力を、どうぞ、よろしくお願いいたします。

ますので、ご確認ください。

令和7年度 京都市立岩倉南小学校 学校経営方針

岩倉南小学校学校教育目標

ともに学び合い 心やさしく たくましく生きる子の育成
～やさしさと思いやり 一生懸命はかっこいい～

<めざす子ども像>

○やさしさと思いやりをもち、自分で考え行動する子

<育成をめざす資質・能力>

「思いやりをもって接する能力」

「粘り強くやり遂げる力」

*非認知能力の育成

家庭・地域との連携

めざす学校像

○子どもが毎日楽しく通える学校
～「期待の登校」「満足の下校」～

子どもを真ん中
において考える

めざす教職員像

○子ども一人一人を大切にする教職員
○子どもの手本となる教職員

教職員の責任と自覚

実際の教育活動の中で



個別最適な学び・協働的な学びの充実を通じて
主体的・対話的で深い学びを実現する

*架け橋プログラム・・・幼児教育と小学校教育の育ちや学びの連続性・一貫性。(保幼小連携) 小学校の学びは、0からのスタートではない。

*KYOTO×教育DXビジョン・・・デジタルならではの強みを生かした学習活動の充実等。自己選択・自己決定学習場面での一人一台端末の利活用。

*ぱれっとルーム・・・学校や教室に来づらい児童の居場所の選択肢として別室を設置。支援員を配置し、一人一人の児童に寄り添えるように。(個別の相談による)

学校運営協議会 各種企画推進委員会の充実 ～ゲストティーチャーによる総合学習～

- ★世代を越えたふれあい委員会(1・2年生・6組)
- ★自然環境を守る委員会(3年生)
- ★伝統文化を大切にする委員会(4年生)
- ★地域の絆を結ぶ防災委員会(5年生)
- ★思いやりの心を育む福祉委員会(6年生)

子どもが学び、学び合う学校 教職員が学び、学び合う学校に **ウェルビーイング**